

ペルジピン[®]注射液

○**手術時の異常高血圧の救急処置**…1分間に、体重1kg当たり2～10 μ gの点滴速度で投与を開始し、目的値まで血圧を下げ、以後血圧をモニターしながら点滴速度を調節する。なお、急速に血圧を下げる必要がある場合には、本剤をそのまま体重1kg当たりニカルジピン塩酸塩として10～30 μ gを静脈内投与する。

○**高血圧性緊急症**…1分間に、体重1kg当たり0.5～6 μ gの点滴速度で投与する。なお、投与に際しては1分間に、体重1kg当たり0.5 μ gより開始し、目的値まで血圧を下げ、以後血圧をモニターしながら点滴速度を調節する。

○**急性心不全(慢性心不全の急性増悪を含む)**…1分間に、体重1kg当たり1 μ gの点滴速度で投与する。なお、患者の病態に応じて1分間に、体重1kg当たり0.5～2 μ gの範囲で点滴速度を調節する。

点滴静注時の薬剤の調製法の例示

点滴静注する場合の本剤の0.01～0.02%溶液は、下表の例示を参考に本剤と配合可能な輸液に本剤の必要量を加えて調製する。

配合する 輸液の量 (mL)	調製するペルジピン溶液の濃度		
	約 0.01%	約 0.015%	約 0.02%
	加えるペルジピン注射液の量 (mL)		
100	12	18	24
250	30	45	60
500	60	90	120

●本剤を点滴静注する場合、配合する輸液によってはpHが高い等の原因で本剤が析出することがあるので、十分注意すること。

■【**効能・効果**】【**用法・用量**】【**警告・禁忌を含む使用上の注意等**】については、製品添付文書をご参照ください。

ペルジピン[®]注射液

投与量早見表

手術時の異常高血圧の救急処置

高血圧性緊急症

急性心不全

●原液換算表

投与量 体重	ペルジピン注射液 ($\mu\text{g}/\text{kg}/\text{分}$)											
	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0
30kg	0.9	1.8	2.7	3.6	5.4	7.2	9.0	10.8	12.6	14.4	16.2	18.0
40kg	1.2	2.4	3.6	4.8	7.2	9.6	12.0	14.4	16.8	19.2	21.6	24.0
50kg	1.5	3.0	4.5	6.0	9.0	12.0	15.0	18.0	21.0	24.0	27.0	30.0
60kg	1.8	3.6	5.4	7.2	10.8	14.4	18.0	21.6	25.2	28.8	32.4	36.0
70kg	2.1	4.2	6.3	8.4	12.6	16.8	21.0	25.2	29.4	33.6	37.8	42.0
80kg	2.4	4.8	7.2	9.6	14.4	19.2	24.0	28.8	33.6	38.4	43.2	48.0

●5倍希釈の場合

投与量 体重	ペルジピン注射液 ($\mu\text{g}/\text{kg}/\text{分}$)											
	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0
30kg	4.5	9.0	13.5	18.0	27.0	36.0	45.0	54.0	63.0	72.0	81.0	90.0
40kg	6.0	12.0	18.0	24.0	36.0	48.0	60.0	72.0	84.0	96.0	108.0	120.0
50kg	7.5	15.0	22.5	30.0	45.0	60.0	75.0	90.0	105.0	120.0	135.0	150.0
60kg	9.0	18.0	27.0	36.0	54.0	72.0	90.0	108.0	126.0	144.0	162.0	180.0
70kg	10.5	21.0	31.5	42.0	63.0	84.0	105.0	126.0	147.0	168.0	189.0	210.0
80kg	12.0	24.0	36.0	48.0	72.0	96.0	120.0	144.0	168.0	192.0	216.0	240.0

- 数値はmL/時(微量ポンプの場合)あるいは滴/分(点滴セット:60滴 \equiv 1mL)を表示します。
- ペルジピン注射液は1mL中にニカルジピン塩酸塩1mgを含有します。

その他の希釈の場合には、「原液換算表」の該当する数値に、希釈する倍率を乗じてください。